

— 東口再開発 FUKUSHIMA EGG 趣意 —

社会は今、かつてない大きな転換点に立っています。人口構造の変化、技術の急速な進化、国際化、働き方、そして人と人との関わり方など、あらゆる前提が同時に揺れ動く時代において、これまでの延長線上だけでは将来像を描くことが難しくなっています。だからこそ私たちは、従来の枠組みにとらわれない発想から、新たな価値や生き方を見いだしていかなければなりません。構造的な厳しさが増す地方がこれからも力強く生き抜くためには、変化に柔軟に対応できる安心の基盤と、自らの強みを信じて未来へ踏み出す挑戦の精神を、同時に育て続けることが不可欠です。

まちを本当に支えているのは、制度でも建物でもなく、ここに住み、集い、生きる「人」です。卵が殻を破ってふ化するように、誰もが安心して自分を解き放てる居場所を築き、まだ眠っている才能や可能性が「パツ！」と花開く空間をつくること。それは単なる環境整備ではありません。一人ひとりが「自分にはできる」と信じ、次の一歩を踏み出す力を育むことこそが、まちの未来を切り拓く原動力となります。

東口再開発の舞台は、県都福島市の駅前という、まちの心臓部です。ここは人が最も自然に行き交い、世代や立場を越えて交わる場所です。駅前とは本来、通勤・通学、買い物、ビジネス、観光といった日常と非日常が重なり合い、多様な目的を持つ人々が交差する公共の共有空間です。この場所に、私たちは公共と民間が知恵と責任を持ち寄り、未来へ向けた挑戦の拠点を築き上げます。

福島市は、都心から片道 1 時間半という距離にあり、南東北を結ぶ新幹線のハブ機能を持ち、浜通りともつながる広域的な交流と経済活動の結節点となり得る地理的優位性を備えています。しかし現状、その潜在力を十分に引き出せているとは言えません。

だからこそ私たちは、福島駅東口に、人の育みが連鎖し続ける循環の場を創り出します。それは単なるにぎわい創出ではなく、短期的な利用にとどまらない、人材育成と交流創造の拠点であり、そこから生まれる新たな発想や連携が地域経済を動かす起爆剤となることを目指すものです。多様な知見や経験が交わり、価値が次々と創出される場を築くために、次の四つの価値を大切にします。

- あつまる。目的がなくても、居場所がある。
- つながる。偶然の出会いが、一歩になる。
- たのしむ。日常の中で学び、可能性が広がる。
- うまれる。小さな挑戦が、まちの景色を変える。

こうした循環は、自然に放っておいて生まれるものではありません。ただ人が集まるだけでは、学びも挑戦も持続しません。明確な意図を持って場を設え、支え続ける覚悟があつて初めて、この営みは文化として根付きます。これは、福島市の未来そのものへの投資です。民間、行政、そして多様な主体が力を合わせ、長い時間軸で人とまちを育てる視点を共有することが不可欠です。

東口再開発「FUKUSHIMA EGG」は、こうした認識と強い危機感のもとに進める、未来への責任ある選択です。安心が挑戦を生み、挑戦の積み重ねが新たな安心を育てる。その好循環を、駅前というまちの中心から福島全体へ広げていく基盤づくりです。交流、展示、発表、会議、研修など、多彩な活動を通じて人と情報が行き交い、学びと刺激が連鎖することは、やがて地域の経済と文化を力強く支える礎となります。

私たちは、この趣意を原点として、立場や役割を越え、同じ未来を見据え、この場所から次の 100 年の土台を築く挑戦に踏み出します。その決意を、ここに明確に表明します。

2026年5月 福島駅東口地区市街地再開発組合 福島市 一同